

# ベン・ハー

Ben-Hur

観賞日 2018・12・24

制作 1959年 米 上映時間 222分  
監督 ウィリアム・ワイラー  
原作 ルー・ウォーレス  
音楽 ミクロス・ロージャ  
出演 チャールトン・ヘストン (ジュダ・ベン・ハー)  
ステイーブン・ボイド (メッサラ)  
ジャック・ホーキンス (クインタス・アリウス)



## 【あらすじ】

- ・前篇 ローマから派遣された新しい司令官メッサラはユダヤ王族一家のジュダ・ベン・ハーと再会する。メッサラは親友であるジュダにローマへの反抗者を密告するよう迫るが、ジュダは支配者となったメッサラの要求を拒否する。新任のローマ総督グラトゥスがエルサレムにやって来た時、屋根から瓦が崩れ落ちグラトゥスは落馬してしまう。この事件でジュダの一家は濡れ衣を着せられ、ジュダは奴隷の身分に母と妹は地下牢に幽閉される。一旦は奴隷の身となったジュダであったがマケドニアとの海戦で長官アリウスの命を救う。海戦を勝利に導いたアリウスは凱旋帰国を果たし、ジュダも奴隷の身分から解放されアリウスの養子となる。不思議な運命をたどったジュダは4年ぶりに故郷ユダヤの地に戻りエスターと再会、母と妹が亡くなったことを知らされる。
- ・後篇 ジュダは敵討ちを誓い、戦車競馬で宿敵のメッサラを打ち破る。そして、死の間際のメッサラから二人がまだ生きており、ハンセン氏病で業病の谷にいることをつきとめる。ローマ市民になることを拒否しユダヤ人であることを選択したジュダは業病の谷に赴き母と妹に会い二人を連れ戻す。ジュダはエルサレムへの帰途、ローマ人により裁判にかけられた青年を見かける。十字架を背負い丘を登るその青年こそジュダの命を救った・・・。  
圧倒的なスケールと迫力でつづる壮大な歴史スペクタクル。

## 【解説】

### ■ポイント

- ・キーワードは「ユダヤ」「ローマ」「イエス」  
ジュダ・ベン・ハーとイエスはユダヤ人。映画が描いた時代のユダヤはローマの支配下であり、イエスが布教を始めた時期。ローマは最初キリスト教を迫害したが、やがて公認し国教となり、ついには世界宗教となる。

【参考】中東一神教：ユダヤ教、キリスト教、イスラム教

- ・受賞【1960年(第32回)アカデミー最優秀賞】

作品賞、監督賞、主演男優賞、助演男優賞、撮影賞、作曲賞、美術賞、衣装デザイン賞  
特別効果賞、編集賞、録音計11部門

なお、11部門受賞は1997年：「タイタニック」、2003年：「ロード・オブ・リング/王の帰還」と並び最多

### ■見どころ

- ・有名な戦車の戦闘シーン
- ・救世主イエスの登場シーン  
ジュダに水を恵む謎の男。裁判にかけられ処刑される青年。
- ・テーマ曲  
ミクロス・ロージャ作曲のテーマ曲は映画の内容にマッチした名曲